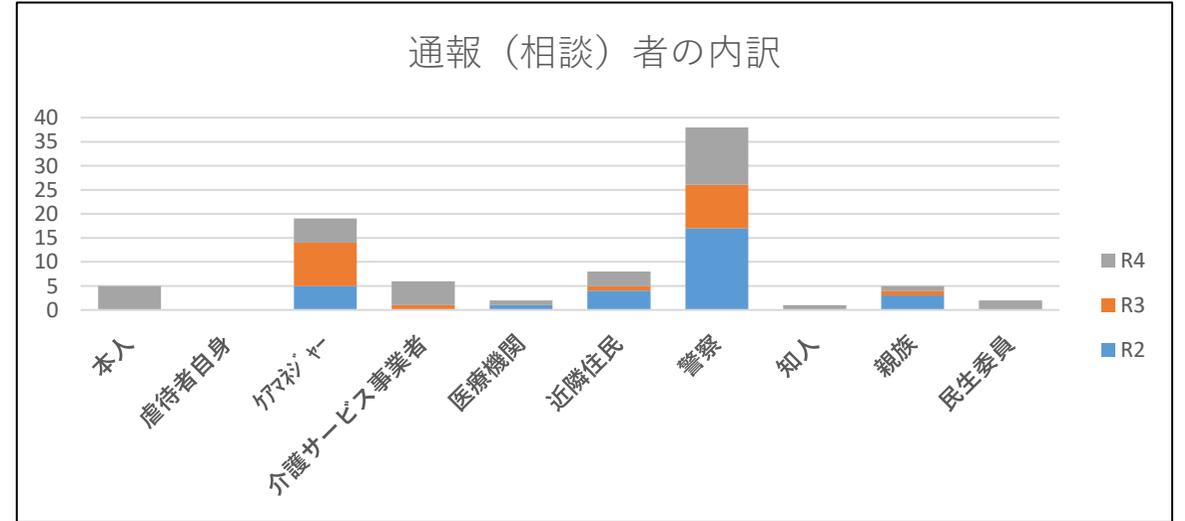
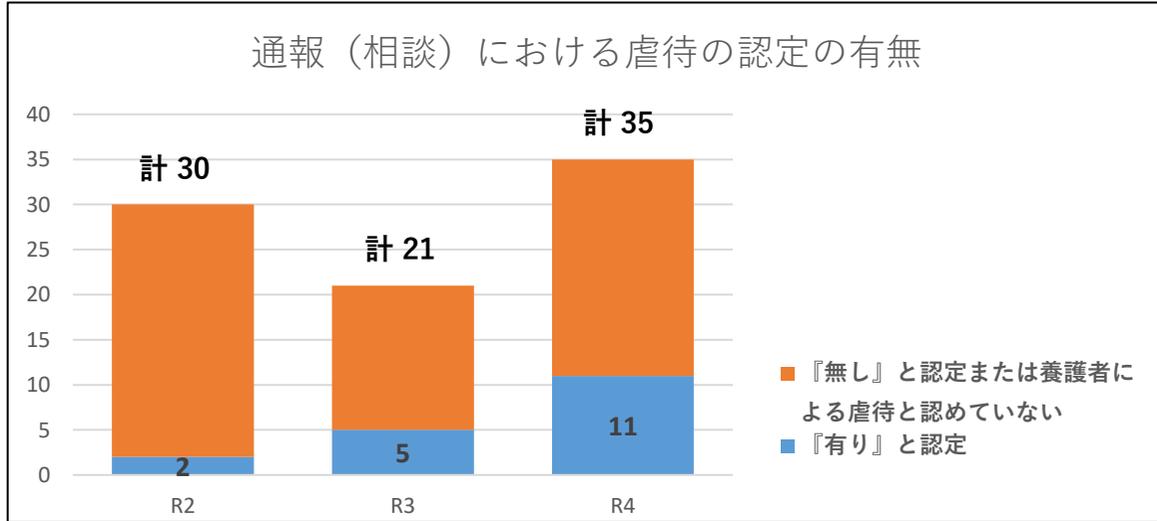


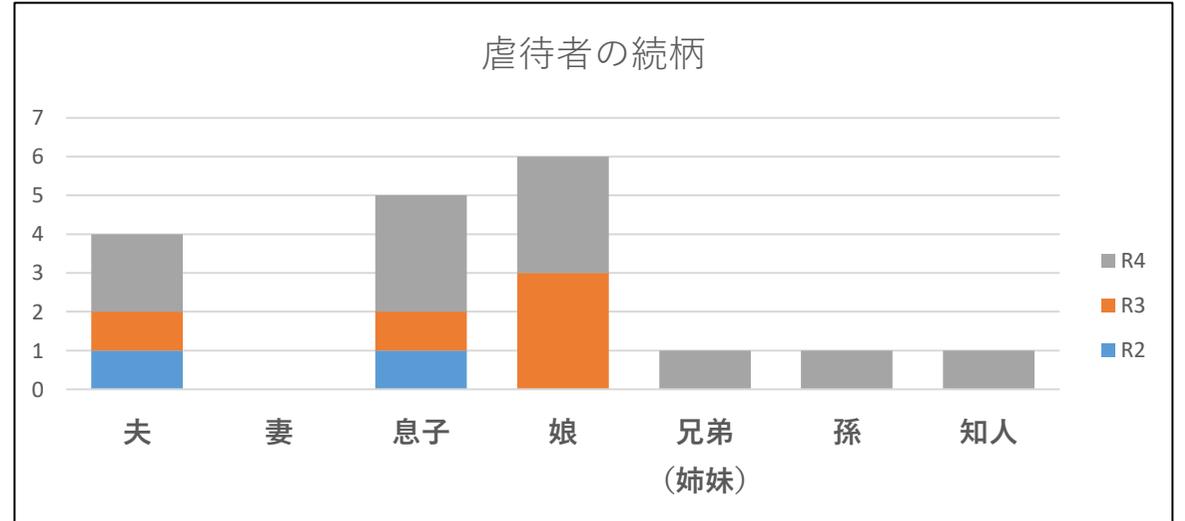
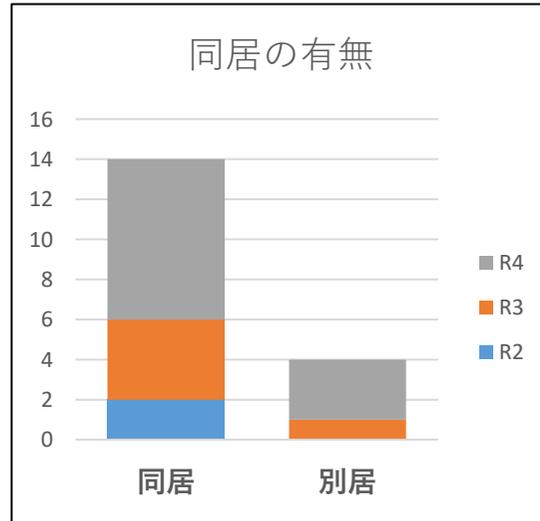
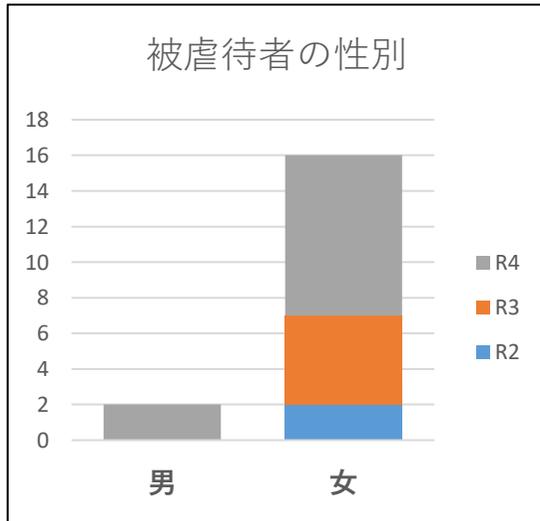
過去3ヶ年における養護者による高齢者虐待対応の比較

(令和4年4月1日 ~ 令和5年1月20日)



通報件数は概ね横ばいであり、虐待を認めるケースが増加しているが、周知啓発の強化の結果、いろいろな人々から通報（相談）が増え始めている

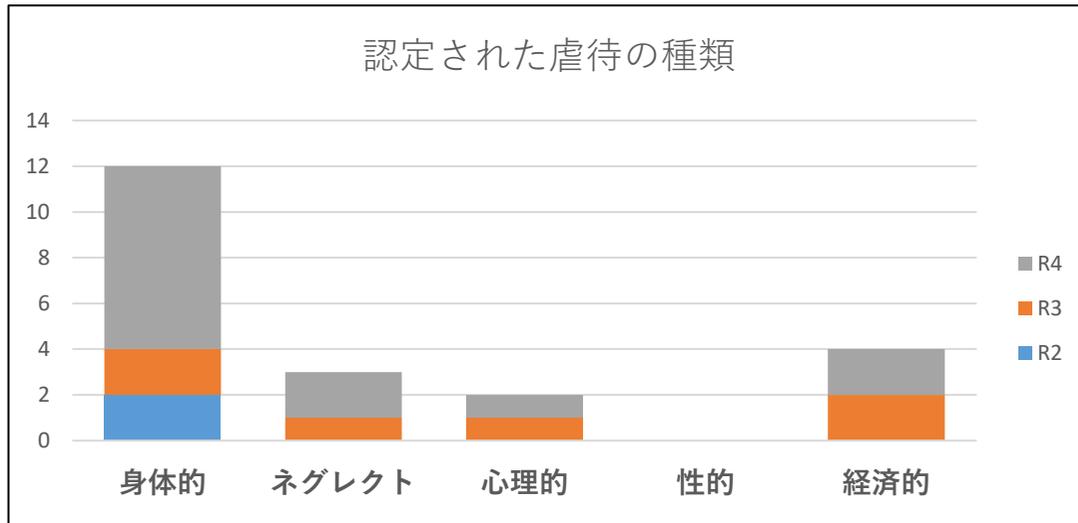
↓ 以下、虐待『有り』と認定した件数における詳細 ↓



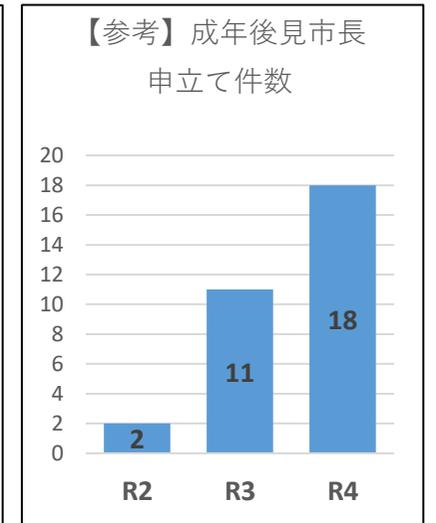
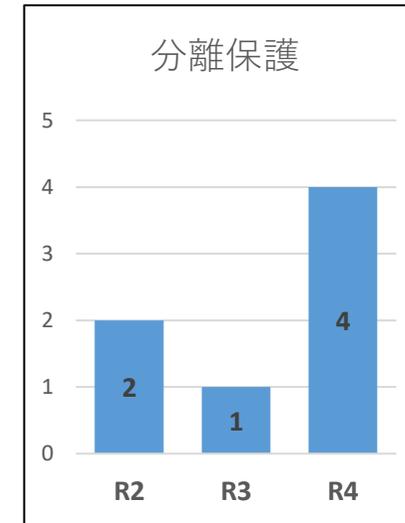
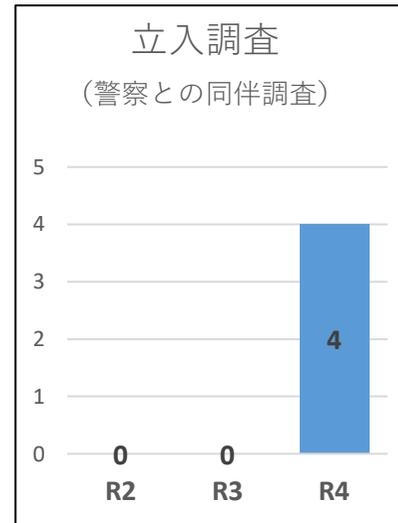
虐待を受けている高齢者のうち9割が、女性である

別居している養護者でも虐待に至るケースが増加し始めた

全国の傾向（夫・息子からの虐待が多い）と比較して、周南市は、娘からの虐待の割合が高い



ネグレクト、心理的虐待、経済的虐待などの『目に見えにくい行為』も虐待であることが市民に浸透してきており、水面下で起きている虐待も発見されやすくなった



警察や分離保護の受け入れ先である施設との連携強化によって、必要な対応がスムーズにできるようになってきた

過去3ヶ年における養介護施設従事者等による高齢者虐待対応の比較

